

「アートでクイズ」指導案

半田市立花園小学校 伊藤増代

単元 アートでクイズ(1時間)

- 目標
- ・美術作品を鑑賞することに興味をもち、積極的に活動を楽しもうとする。
 - ・提示された作品写真(アートカード)をよく見て考えることによって、作品についての情報・知識を深める。
 - ・美術作品を見ることや美術館に関心をもつことができる。

時	学 習 活 動	教師の働きかけと支援・留意点
1 (45分)	<p>1. 学習課題と手順を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 作品をよく見て、クイズに答えよう。 心に残った作品について説明しよう。 </div> <p>2. 「アートでクイズ」をする。 (例) ①猪熊弦一郎 ②ジョージ・シーガル ③三沢厚彦 ④サム・フランシス ⑤グスタフ・クリムト ⑥熊谷守一</p> <p>3. 答え合わせをし、解説を聞く。</p> <p>4. 「心に残った作品」とそのわけをワークシートに記入する。</p> <p>5. 「今日の授業の感想」をワークシートに記入する。</p>	<p>○愛知県美術館に出向けば、全て実物作品が見られることを伝えておく。</p> <p>○「この謎解きに挑戦すればアートものしり博士になれる！」として、鑑賞についての意欲を喚起する。</p> <p>○ワークシートを配布し、今日のめあてと授業の流れを確認する。クイズに出た作品の中からお気に入りの一点を選ぶことを伝えておく。</p> <p>○アートカード(作品写真)の見せ方については、別記。</p> <p>○このクイズは正解数の多い少ないを競うことよりも、“初めて知ったこと”“意外に思ったこと”“興味をもったこと”などを心に残しておくように心がす。</p> <p>○答え合わせはまとめてする。単に解答のみでなく、できるだけ心に残るような解説を行う。</p> <p>○自分なりの見方で、感じたこと・考えたこと、驚いたことなどを書かせる。</p> <p>○数名に感想を発表させ、まとめをする。</p>

※アートカード(作品写真)の見せ方について。

①アートカードをそのまま使う

書画カメラ、e-黒板を使用。ズームアップが容易にできる。

児童は自分の席に着席し、画面を見た後答えをワークシートに記入する。クイズ問題は別紙に準備する。

②作品をB4サイズ紙に貼り、ラミネートしたものを使う

児童を黒板前に集めて座らせ、教師は作品を手を持って見せながらクイズを出していく。ワークシート、パイプンダー、鉛筆を持たせ答えを書かせる。提示した作品はそのまま黒板に掲示していき、“お気に入り”を書く時に再び注目させる。